

月 都 響  
刊  
September 2023



気を付けてね！ ホールでの過ごしかた

- 携帯電話や音が鳴るモノは電源を切りましょう。
- 演奏中はお話しないで静かに聴きましょう！  
周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- 録音・録画、写真撮影は禁止です。

2023  
9/18

# Promenade Concert

## プロムナードコンサート No.404

会場：サントリーホール

指揮／ローレンス・レネス

ヴァイオリン／タバア・ツィンマーマン

♪ モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622  
(ヴァイオリン版) (約 30分)

♪ プロコフィエフ：バレエ《ロメオとジュリエット》より  
～ローレンス・レネス・セレクション～ (約 55分)

- ①噴水の前のロメオ
- ②情景
- ③朝の踊り
- ④少女ジュリエット
- ⑤モンタギュー家とキャピュレット家
- ⑥マスク
- ⑦ロメオとジュリエット
- ⑧僧ローレンス
- ⑨タイボルトの死
- ⑩別れの前のロメオとジュリエット
- ⑪ジュリエットのベッドのそば～ジュリエットの葬式～ジュリエットの死

東京都交響楽団

# PROGRAM NOTES

今日のコンサートでは、前半はヴィオラが活躍するモーツァルトの協奏曲を、そして後半はオーケストラがドラマティックに響くプロコフィエフのバレエ音楽を聴きます。

## モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 (ヴィオラ版)

一曲目は、ヴィオラが独奏で登場します。その姿はヴァイオリンとそっくりですが、サイズはひと回り大きな楽器です。音程はヴァイオリンよりも少し低く5度下の音まで出ます。みなさんが歌う合唱曲には「アルト」や「テノール」という中音域を担うパートがありますね。ヴィオラはオーケストラの中で演奏する時は、アルトやテノールのように主に内側のパートを担当して、ハーモニーに豊かさを与える役割を担っていますが、今日のステージでは主役として登場するので、その音色をよく聴くことができます。演奏は世界的な名手のタベア・ツィンマーマンさんです。

もともとこの曲は、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)が亡くなる2ヶ月前の1791年10月に、木管楽器のクラリネットのための協奏曲として作ったものです。当時クラリネットはまだ新しい楽器でしたが、シュタードラーという優れたクラリネット奏者がいて、彼は低い音まで出せるようにした特別なクラリネットを開発しました。モーツァルトはそんなシュタードラーと彼の楽器のためにこの曲を作ったと考えられています。さわやかに流れる第1楽章、穏やかで心に染み入るような第2楽章、可憐で美しい第3楽章で構成されています。ヴィオラ用の編曲では、独奏パートのメロディーに華やかなアレンジがほどこされています。

## 都響のヴィオラ奏者に聞いてみました！ ヴィオラの魅力とは？



ヴィオラはヴァイオリンより約10センチ長く、低い弦が付いています。音の違いは、キラッと澄んだ妹の声のようなヴァイオリンに比べて深く落ち着いたお兄ちゃんの声。

合奏では、リズムを刻み、ハモる内声を担当、時には素敵なメロディーを歌い上げたりと、多彩な楽しみを密かに味わえるところが魅力です。

## プロコフィエフ：バレエ《ロメオとジュリエット》より ローレンス・レネス・セレクション～

《ロメオとジュリエット》という有名な物語をご存知ですか？ お話の舞台は14世紀、イタリアの都ヴェローナです。そこにはキャピュレット家とモンタギュー家という、代々伝わる名門一族がいました。両家は仲が悪く、いつも争いをくり返していました。ある時キャピュレット家の令嬢ジュリエットと、モンタギュー家の一人息子のロメオが恋に落ちます。若い二人は自分たちが結婚することで、長く続く両家の争いを終えることができると信じた。しかし両家の間で殺し合いが起こってしまいます。ジュリエットは僧侶ローレンスから眠り薬をもらい、家族には

死んだと見せかけてロメオが迎えに来るのを待ちます。しかし、ジュリエットが本当に死んでしまったと思ったロメオは、自らの命を絶ってしまいます。眠りからさめたジュリエットも絶望し、ロメオの後を追って死んでしまうという悲劇のストーリーです。



これは英国の劇作家シェイクスピアが15世紀の終わりに作ったお話ですが、フレデリック・レイトン「ジュリエットの偽りの死」300年以上もの時を経て、ロシアの作曲家セルゲイ・プロコフィエフ(1891~1953)がバレエ音楽に仕立てました。作曲は1935年。当時ロシアはソビエト連邦という国で、政治家たちは芸術家に「わかりやすくシンプルな作品を作れ」と命令していました。プロコフィエフは工夫をこらし、シンプルながらも生き生きとしたリズムにあふれ、人々の印象に残る鮮やかな音楽を作ることになりました。

バレエ用には全部で52曲を書いたプロコフィエフですが、オーケストラの演奏会用にも第1組曲(7曲)、第2組曲(7曲)、第3組曲(6曲)にまとめました。今日はその組曲とバレエ用の曲の中から指揮者のレネスさんが13曲を選び、物語に沿った順序で演奏します。それぞれのタイトルから、バレエの場面や登場するキャラクターたちを想像しながら聴いてみましょう。

演奏曲:「噴水の前のロメオ」「情景」「朝の踊り」「少女ジュリエット」「モンタギュー家とキャピュレット家」「マスク」「ロメオとジュリエット」「修道士ローレンス」「タイボルトの死」「別れの前のロメオとジュリエット」「ジュリエットのベッドのそば~ジュリエットの葬式~ジュリエットの死」

文/飯田有抄(クラシック音楽ファシリテーター)

## 指揮 ローレンス・レネス Lawrence RENES, Conductor



©Mats Bäcker

マルタ系オランダ人指揮者。オペラとシンフォニー双方の分野で高く評価され、オーケストラと歌手とのバランスをとる才能や、情熱的でニュアンスに富んだ演奏が称賛されている。これまでにリヨン国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団などたくさんのオーケストラを指揮、オペラではケルン歌劇場などに登壇している。かつてはスウェーデン王立歌劇場音楽監督を務め、モーツァルトから21世紀までのレパートリーに取り組んだ。現代作品の熱心な支持者であり、ジョン・アダムズから厚い信頼を得ている。都響とは3度目の共演となる。

## ヴィオラ タベア・ツィンマーマン Tabea ZIMMERMANN, Viola

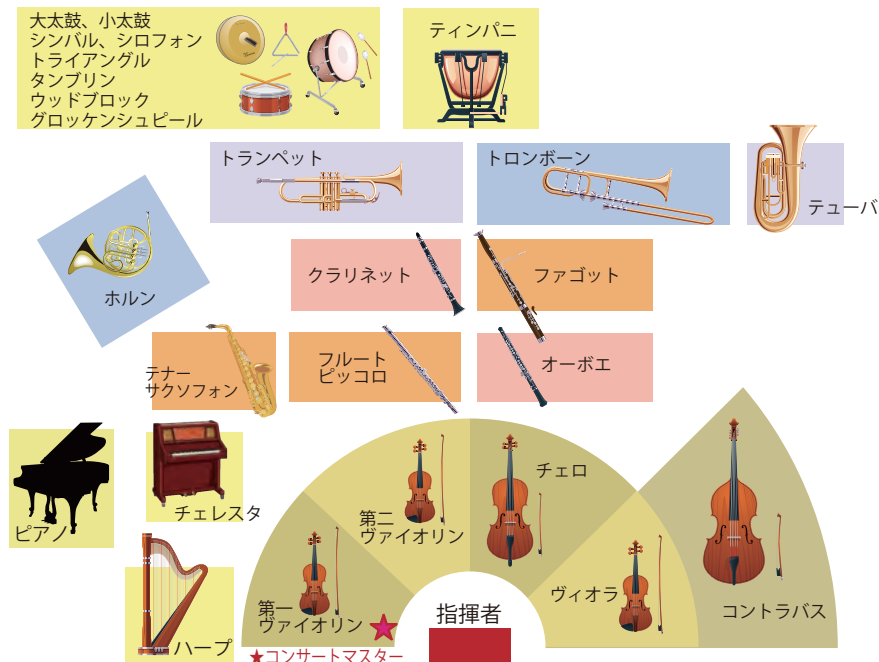


©Marco Borggreve

ドイツのルール生まれ。3歳でヴィオラを始める。フライブルク音楽大学でウルリッヒ・コッホに、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽院でシャーンドル・ヴェーグに師事。ジュネーヴ国際コンクールなど3つのコンクールで優勝。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など世界の名だたるオーケストラと共演を重ねている。フランクフルト音楽賞など多くの賞を受賞。2002年~23年までハンス・アイスラー音楽大学ベルリンで教授を務め、現在はザールブリュッケン音楽大学とフランクフルト音楽演劇大学で教鞭を執っている。都響とは1990年以来たびたび共演している。

# オーケストラ配置図（9月18日 プロムナードコンサートNo.404）

演奏する曲によって使わない楽器もあります。  
どの曲にどの楽器が使われているかにも注目してみてくださいね。



※楽器の配置は一例です。当日のステージで確認してください。

## TMSO 東京都交響楽団



©Rikimaru Hotta

東京オリンピックの記念事業として  
1965年に東京都が設立しました。  
都響（ときょう）という愛称で親しま  
れています。

上野の東京文化会館を本拠地として、サントリーホールや東京芸術  
劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。その他、  
交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』など  
ゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、  
病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動に取り組んでいます。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、  
「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。